



三州病院広報誌

和

なごみ

春・夏号
2015

第20号

<http://www.sansyu-hp.jp/>



患者様の作品

CONTENTS もくじ

ピックアップ

薬剤室、サービス向上委員会・行動制限最小化委員会 P1、2

患者様のこえ P2

三州川柳 P3

わたしの趣味 P4

表紙の案内 P4

心と体～ストレスとの付き合い方～ P5

院内行事 P6

PickUp

第20回
ピックアップ

薬剤室



現在、薬剤室は薬剤師3名と薬局事務1名で構成されています。薬剤室はどんな仕事をしているのでしょうか。

まず、調剤業務では

- ① 処方箋監査
～処方箋の記載に間違いはないか、処方内容に疑問点はないか確認します。
- ② 処方内容のパソコン入力 ～この時に薬歴の確認もします。
- ③ 1次監査 ～氏名・薬品名・用量・用法・処方日数の確認をします。
- ④ 2次監査 ～1次監査とは違う薬剤師によって再度確認します。
- ⑤ 患者様へお渡しします。
- ⑥ 必要であれば、薬剤情報提供書を作成します。

安心して服薬していただくためには、薬の管理も重要です。保管場所の温度・湿度の管理、使用期限の確認等々を行います。

今、力を入れているのは入院患者様への服薬指導です。服薬の大切さや必要性を一緒に考えたり、苦みや大きさ等で飲みにくくないか、副作用はないかななどの疑問にお答えしたりして、患者様が安心して服薬できるようお手伝いできたらと思っています。

まだまだ、薬剤室の仕事は紹介しきれませんが、薬剤室一同「安心」「安全」をお届けできるよう頑張っております。



サービス向上委員会・ 行動制限最小化委員会

サービス向上委員会は、サービス面と
 接遇面の向上を目指して活動をしていま
 す。サービス面としては、外来・入院患
 者様へのアンケートを実施したり院内に
 意見箱を設置したりするなどして、皆様
 のご意見をお伺いしサービスの向上に取
 り組んでいます。接遇面としては定期的
 に研修を行い言葉遣いや身だしなみ、対
 応についての向上を目指すなど取り組ん
 でいます。



行動制限最小化委員会は、様々な行動制限についてその妥当性を検討し、早期に行動制限の
 解除や縮小が出来るよう活動しています。

今後も患者様、ご家族様に安心してより良い医療サービスを受けていただけるようメンバー
 全員で努力していきたくと思います。



**当院では院内に意見箱を設置し患者様・御家族が
 気軽に意見を伝えられる病院づくりに努めています。**

意見箱に入れられた意見・相談・苦情等とそれに対する各部署の対応を紹介します。

意見内容	週刊誌が置いてある棚の上に無料の病気に関するパンフレットが置かれていますが、統合失調症に関係のあるものをもっと置いていただけたら嬉しく思います。よろしくお願いします。
回答	ご意見ありがとうございます。早速、統合失調症に関係のあるものを取り寄せるように手配しました。また、病気への理解や生活のし易さのヒントになるよう、パンフレットをご利用いただけると嬉しいです。 (医療福祉相談室)
意見内容	オブラートがあると助かります。
回答	病院内の薬剤室では販売行為は行っておりません。ドラッグストア等、オブラートを扱っているお店にてお買い求めください。 (薬剤室)



『三州川柳』

～心理教育グループ編～

当院では患者様が自分自身の生活をよりよくしていくために、病気や薬の知識、生活の情報を得ることを目的とした「心理教育グループ」という活動を行っています。

先日、活動の中で病気や入院生活など身近なことをテーマに川柳を作りましたので、少しご紹介します！（お名前は全てペンネームです。）

- ラベンダーさん「秋来たり 何をしようか あっという間」
（月日の流れは速く、入院生活でも四季が変わるのをあっという間だと感じていらっしゃるようです。）
- 柳本絵里加さん「仕事する ゆっくりする 暇もなし」
（病棟内では折り紙で作品を作ることを仕事としている柳本さん、作品作りがお忙しいようです。）
- ゆきんこさん「暦では もう冬ですね 今日寝る」
（いつも寝てばかりのゆきんこさん、冬になると冬眠されるそうです。）
- につたらこさん「看護婦さん 美人不美人 勢ぞろい」
（スタッフ観察をよくされているようです、この句には思わず笑ってしまいました。）
- ランナーさん「おばあちゃん 汲んできました お水をどうぞ」
（ご年配の患者様に優しいランナーさん、心があたたかくなる優しい一句です。）
- アポロ2号さん「正月に 餅食べて 身を減ぼすぞ」
（食いしん坊のアポロ2号さん、この句は自分自身への戒めでしょうか？）
- カップさん「いざ行くぞ ここに幸あれ 我が道ぞ」
（カップさんはいつも前向きな方で、これからの人生に向けて力のみなぎる一句です。）
- デーモン小暮さん「髭剃り器 いつも預けて 充電中」
（電池切れで使えないことのないようにとのスタッフの優しさを感じていただけると嬉しいです。）
- ケーキちゃんさん「苦いから 飲みたくないの 本当はね」
（薬は大切だってわかっているケーキちゃんさんだからこそ、少し本音を伝えたかったようです。）
- ひまわりさん「ギラギラ太陽に 頭は熱く 水色の帽子かぶる」
（お気に入りの水色の帽子がとおりでしょうか。夏が待ち遠しいひまわりさんの一句です。）



上記の患者様の作品に触発され、スタッフでも川柳大会を行いました。ユーモアや愛にあふれる上位3名の作品を発表します！

～病院スタッフ編～

- **最優秀賞** 「患者様 くれると約束 3千万」
（統合失調症の症状の1つである妄想。私たちもその妄想話に期待を膨らませ夢をみることもあるんです。笑）
- **優秀賞** 「アリセプト 飲むべきなのは わたしかも」
（アリセプトは認知症の治療薬として使われています。この句の作者は薬剤師！薬の準備をしながら感じているのでしょうか。）
- **準優秀賞** 「湯船にね つからせたいな 冬の日」
（患者様のことを思った優しい一句です。寒い日が続くと温かいお風呂でゆっくりしていただきたいですね。）

☆わたしの趣味☆

今回は三州病院唯一の男性師長である松元師長に意外な!? 趣味を紹介していただきますしょう。

皆さんこんにちは!

趣味と言うほどではありませんが、私は料理をするのが大好きです。

仕事が休みの日には時間さえあれば午後から買い物へ行き、料理をします。料理といっても大したものはありませんが、レパートリーを紹介すると、豚骨・昆布巻・焼き鳥等です。

特に焼き鳥は楽しいですよ!! 焼き鳥屋で美味しかった串を、見よう見まねで再現し作ります。肉を切り、串に刺し、そして焼く。多少辛くとも甘くともいいんです!!!

自分で作ったものは美味しいんです。特に私が作った物は…。(笑)

自分で作ると、何だか達成感も得られます。皆さんも是非ご自分で作ってみてください。(毎日作ってるが!と言われそうですが…)

そして、美味しいレシピがあったらぜひ教えて下さいね。

(看護部 男子病棟師長:松元)



今回の表紙は…

入院患者様が描かれたイラストです。
いつも病棟で風景画や動物の絵を描かれており、昔から絵を描くことが好きだったというA様。
「若い頃はもっと上手に描けてたんだけどなあ〜、もう60を超えたら上手いこと描けなくなりました」と笑っていらっしゃいました。
なかなか味のあるイラストだと思いませんか?
これからもいろいろな作品を見せてくださいね!



心と体

～ストレスとの付き合い方～



私たちは、人生に起こるさまざまな出来事に対して、多かれ少なかれ心身ともにダメージを受けています。例えば「配偶者の死」や「離婚」、「自分のけがや病気」など一般的に嫌な事・ショックな事はもちろんですが、「結婚」や「妊娠」、「仕事の昇進」など良い事・めでたいと捉えられる事もストレスとなります。ストレスがたまると、「何かストレス発散法を見つけなきゃ」と思う人も多いでしょう。でもこれがなかなか難しいのです。

「笑う門には福来たる」と日本ではよく言われています。近年では、笑いの医学的効果も実証されているようです。映画「となりのトトロ」の中でも笑いを使った工夫が出てきます。家でのお風呂のシーンで、風で家が壊れそうな音を立て、サツキとメイは不安になります。その時お父さんがワハハハと笑ってみせます。3人は最初わざと笑いを作りますが、そのうち本当に楽しくなって、不安だったことを忘れてしまいます。

心と体は密接に関係しています。心が落ち着いて楽しい時は、体はゆったりとして、顔は笑顔になります。逆に、となりのトトロのお風呂のシーンのように、体が笑顔を作ることによって、心も落ち着いて楽しくなってくる場合があります。心・気持ちを変化させることはなかなか難しいですが、体を変化させることは意外と簡単です。心が緊張して不安な時、体は固くなり、心臓がバクバクして、呼吸も速くなるでしょう。そんな時も体から変化させてみましょう。一番簡単な方法が深呼吸です。ゆっくり呼吸をすることで、体の緊張がほぐれ、気持ちも楽になります。



ストレスを発散するために、新しいことを見つける、始めるのはなかなか大変です。そんな時は、体のどこかを変化させて、ストレスと上手く付き合っていく方法を試してみましょう。

(臨床心理士)

院内行事 楽しい行事がいっぱい!

平成26年度実施行事

Pick Up

11月 演芸会

演芸会が行われ、スタッフと患者様が一緒に頑張った練習の成果を発揮しました。各病棟それぞれの持ち味を生かした手品や踊りの発表があり、また、手作り衣装を見るのも楽しみの一つでした。

今年は患者様のカラオケやギターの発表などもあり、バラエティにとんだ演芸会となりました。



認知症病棟家族交流会



認知症病棟の家族交流会を開催しました。まず、医師による「認知症とのおつきあい」、精神保健福祉士による「高齢者への福祉制度とサービス」

についての講演を行いました。その後の茶話会では同じ立場であるご家族同士の体験を語りあったり、ご家族の悩みや苦しみを打ち明けたりする場となり、スタッフもご家族の思いに触れることの出来る貴重な時間でした。また、医師へ症状や対応についての質問もあり、「それでいいんですよ」という医師の言葉にホッとされたご家族もいらっしゃいました。

今後も、このような交流会を通じてご家族のお気持ちが軽くなるようなお手伝いをさせていただきたいと考えています。ご参加、ありがとうございました。



12月 犬迫小学校もちつき大会

今年も犬迫小学校で行われたもちつき大会にお誘いいただき、交流を行っている認知症病棟の患者様と参加しました。当日はあいにくの雨となりましたが、炊きたてのもち米の湯気、昔ながらの杵と臼、あちらこちらから聞こえる威勢のいい「よいしょ!」と杵をおろす声。患者様方はその雰囲気「あらあ、懐かしかね〜」「楽しそうだね〜」と満面の笑顔を見せられました。

子どもたちと一緒に餅をつき、真っ白になりながら丸めましたが、患者様方は昔を思い出しながら慣れた手つきで作業を行います。子どもたちや保護者の皆さんに「さすがですね〜!」と声をかけていただきました。

出来たての柔らかい餅はもちろん美味しく、「楽しかった〜」と良い交流活動が出来ました。



6月 のど自慢大会

7月 セ夕

8月 院外レクレーション

9月 敬老会

10月 ゲーム大会

12月 クリスマス会

1月 正月ゲーム

- 毎月、誕生会も開催しています。様々な行事にボランティア大歓迎!
- 他にも各病棟、デイケアでも様々なレクリエーションを企画しています。

理念 基本行動指針

患者様を博愛の精神で受け入れ、
分け隔てなく、寛容の心で接します。

1. 患者様の人権に配慮し、
最善の医療とより高き入院生活環境を
提供します。
2. 精神科リハビリを促進し
早期退院に努め、
多くの方が地域で生活できるように努力し、
その家族を含めて支援します。
3. 常に医療について研鑽を怠らず、
医療人としての誇りと働き甲斐を持てる
環境の創造に努めます。
4. 関係機関と連携し、医療を通じて
地域への貢献に努め、地域と共に歩む
病院作りを目指します。

患者様の権利について

患者様が安心して、
より良い医療を受けられるように、
患者様の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 医師から十分な説明を受け、治療を受ける権利
3. 通信・面会の権利
4. 公平で差別をされない医療を受ける権利
5. 処遇等の不服を申し立てる権利
6. 医療上及び個人の秘密を守られる権利

編集後記

野山に若葉が映え、爽やかな風が新緑の香りを届けてくれる季節となりました。
さて、各部署の代表が、手作りで作り続けた「広報誌「和」」が、たくさんの方
々のご協力とご愛読していただいた皆様のお蔭により、今年で10年の節目を
迎える事が出来ました。

入社してまだ2年目の私ですが、広報の一員として、これからも皆様を楽しみに
していただけるような「和」を作っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

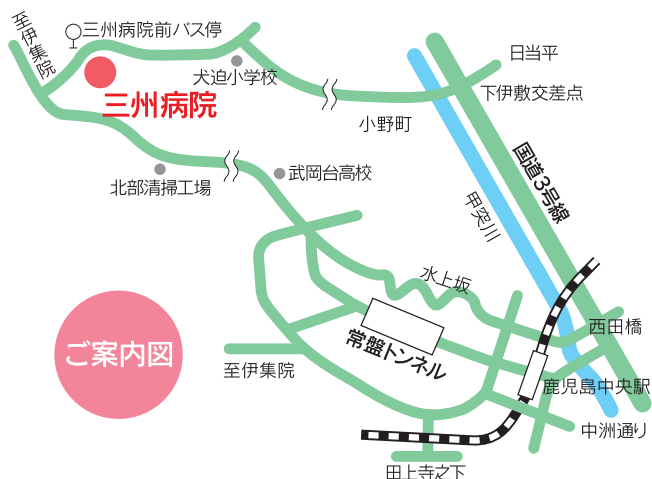
ホームページアドレス <http://www.sansyu-hp.jp/>

☆ホームページでも広報誌がご覧いただけます。(広報担当 宿里)

交通ご案内 鹿児島交通バス



山形屋バスセンターから犬迫経由伊集院線にて乗車いただき、
三州病院前バス停でご降車下さい。



ご案内図



日本医療機能評価機構
認定病院



特定医療法人 共助会

三州病院

〒891-1205

鹿児島市犬迫町7783番地1

TEL/**099(238)0075**

FAX/**099(238)0079**

診療科目 精神科・内科

<http://www.sansyu-hp.jp/>

診療時間 午前 9:00~12:00 (受付8:30~11:00) 午後 13:30~17:00 (受付13:30~16:00)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日

施設概要 病床数 213床
病棟 精神病棟 95床
精神療養病棟 60床
認知症治療病棟 58床

業務内容 ●精神療法 ●精神科作業療法
●精神科 デイケア・テイクアウト・ショートケア
●精神科訪問看護 ●もの忘れ外来 他